

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.3 2

開催地：人吉市中原校区

平成 19 年 9 月 28 日（金）、人吉市中原校区（会場：人吉市中原コミュニティセンター）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。
 同報告会には、約 30 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。
 いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。
 なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

市内	30 名
市外	1 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の報告会はダムを造ることが前提となっている。説明会ではなく、意見を聞く会との位置づけが欲しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針は、長期的な河川整備の目標等の基本的な方針について定めたものであり、ダムの整備などの具体的な治水対策については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。 報告会は、基本方針の内容等について地域の方々にご報告するために開催したものです。報告会においてお聞きした球磨川に関する様々なご意見等についても、河川整備計画や今後の川づくりの参考にしていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・潮谷知事は球磨川の流域に様々な意見があり、一致をみないとこれ（川辺川ダム）は承知できないと判断されている。住民意見が（ダム建設で）まとまってから国にお願いするのが筋だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針は、長期的な河川整備の目標等の基本的な方針について定めたものであり、ダムの整備などの具体的な治水対策については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。 なお、河川整備計画の策定にあたっては、必要に応じて関係住民の意見を反映させる措置を講じるよう法律に定められており、今後とも住民の皆様のご意見をお聴きしていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・小委員会の委員は人吉球磨に実際に来たのか。詳細に教えて欲しい。 ・小委員会の委員が来たのなら、なぜ、地元の声を聞く機会を持たなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小委員会委員の多くの方が球磨川の現地をご覧になっています。 ・小委員会では、住民討論集会の資料や議事録を各委員に配布したほか、小委員会宛てに提出された意見書等も踏まえて審議を行っていただきました。 また、小委員会の席上、委員である知事や人吉市長は、地域の様々な実情を踏まえた上で、ご意見を述べられています。
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞には、基本方針に事実上川辺川ダムの必要性を織り込むということを書いている。だから今日の報告会を行っているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針は、長期的な河川整備の目標等の基本的な方針について定めたものであり、ダムの整備など具体的な治水対策については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。 報告会は、基本方針の内容等について地域の方々にご報告するために開催したものです。

【球磨川の治水対策について】

- ・ S40年の大水害時に、市房ダムが増水、決壊するから避難をとの広報があり避難した記憶がある。この時の雨量と市房ダムの放水量の関係を教えて欲しい。
- ・ S元年の天狗橋の写真をみると、S40年洪水で流れた橋よりも低い橋であり、今の川底になっている所に何百人か地元の人が住んでいたと思う。S40年より前は、住民の方は、庭先まで水が来たから荷物をあげようかなどとういことで避難をしていた。S40年洪水では、逃げ場の無いような一度に津波でも押し寄せるような水の流れ方であったということで、市房ダムが非常に大きく関係しているのではと大半の人が思っているのではないか。ダムに対するアレルギーがみんなにあると思われ、その辺についての説明に納得されていないのではないかと思う。
- ・ S40年水害後に、川幅を拡げるために多くの農地を提供したが、当時はダムの話は全く無かった。ダムと同時に川幅を拡げる話が当時からあれば、このような切羽詰まった状況にはならなかったのではないかと思う。だから、私はダムには反対。
- ・ S40年7月3日の洪水時には、朝の6時か5時半頃にサイレンがなり、被災者を助けるために外に出たが、6時半頃になって、異常な高さの水がきた。市房ダムを開けた時間帯に水位が最大になったということであり、ダムができて住民が水害から守られるということは信じられない。
- ・ 川辺川ダム予定地でも市房ダム周辺と同様に雨が降ると思われのため、いっぱいになればダムを開けることになり、両ダムの放流が一緒になると、おそらく40年水害以上の被害が起きると思う。市房ダムがどのように操作をしたか、技術的なことを私たちは何も聞いていない。施設を見たことも無い。市房ダムが出来たことで被害を受けたと思っており、川辺川ダムは懸念を持っている。
- ・ 仮にダムが満杯になっても、流入量以上に放流しないということとは理屈としては分かるが、仮に放水量が流入量と同じであっても、放水された水のエネルギーの破壊力は格段にあるのではないかと思う。JR肥薩線の瀬戸石駅は瀬戸石ダムが出来て、放水するようになってから、何回も浸水し、あるいは破壊され

【熊本県回答】

- ・ 市房ダムに流れ込む流域の割合は、人吉を100%とした場合、14%です。S40年の災害時の市房ダムへの最大流入量は862m³/s、最大放流量は521m³/sであり、流入量と放流量の差分をダムに貯め込んで調節しました。
- ・ 貴重な体験談をありがとうございます。
昭和40年の水害については、当時の状況をよくご存じの方々から、今後ともさらに情報をお聴きするなどして、河川管理者としての説明責任を果たすことができるよう努めてまいります。
- 【熊本県回答】
- ・ 洪水調節を行っている間は、ダムへの流入量に対して、少ない量を放流しています。
また、昭和40年7月洪水時の人吉地点での流量の内訳として、全体が約5000m³/sのうち、市房ダムからは521m³/sと約1割で残りの9割は市房ダム下流の流域からの流量です。
- ・ 皆さんの大切な土地等をご提供いただいた結果、堤防を造ったり川幅を拡げたりすることができました。治水事業にご協力いただき、改めて御礼申し上げます。
一方で、ご指摘にあるように、工事を行う際、土地をご提供いただいた方に、治水対策としてダムと堤防の整備の両方が必要であることについて説明が不十分であったことは、大変申し訳なく思っております。今後ともしっかりと説明責任を果たしていきたいと考えています。
- ・ 貴重な体験談をありがとうございます。
昭和40年の水害については、報告会で多くのご意見や疑問が寄せられたことから、当時の状況をご存じの方に、別途さらに情報をお聴きするなどして、河川管理者としての説明責任を果たすことができるよう、今後とも努めてまいります。
- ・ ダムの操作へのご懸念と思えます。ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を作成する際に検討していくこととなりますが、いただいたご意見は検討の参考とさせていただきます。
- ・ ご指摘のとおり、水は高いところから落ちてくれば一定のエネルギーをもって流れてくることとなります。一般的には、ダムの下流には減勢工という構造物を造るようになっていきます。減勢工は、例えば、ダムからの流量を摩擦や跳ね返り等のエネルギーロスにより、ダムの下流に安全に流せるように設置するも

<p>てきた実績がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放水のエネルギーを相殺するための施設は一般的にあるとは聞いているが、瀬戸石ダムには無いのでは。また、非常放水門というものがダムにはあるが、そこからの放水についても減勢するのか。 ・万江川の城本町公民館の前付近の河床に土砂が堆積している。土砂の掘削と雑木の伐採をお願いしたい。また、左岸の堤防がえぐれており、測量はしているようだが、早急に着工し整備をお願いしたい。 	<p>のです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的には、規模の大きいダムの下流には減勢工という構造物を造るようになっていきます。 ・万江川の大部分は県が管理していますので、県と連携して、土砂撤去並びに雑木伐採について検討していきたいと考えています。
<p>【球磨川の環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の方がボランティアで道路脇の草刈りをした1週間か10日後に、国が業者を使って草刈りをしていました。草刈の時期が分かっているのなら、あらかじめ連絡して欲しい。また、地元で彼岸花を植えているが、請負業者から彼岸花があると完成写真がとれないから困るといふようなことを言われた。地元の取り組みを裏切るような発言については、国や市からも指導して欲しい。 ・球磨川右岸の釜場排水樋管から約400mほど下流までに雑木等が多く、洪水後にゴミが引っかけたり景観も悪い。球磨川下りなど観光面に悪影響を与えるため、雑木の伐採をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、当該地区で除草を行なう際には、地元住民の方々と時期を十分調整のうえ、実施するように指導していきます。また、彼岸花についての請負業者の対応に関しては、大変申し訳なく思っております。今後、このようなことのないよう、しっかりと業者を指導していく考えです。 ・ご指摘のとおり、景観上の問題がある一方で、樹木には生物等の生息・生育場になっている場合があることから、生物調査の結果等を踏まえ、伐採について検討していきたいと考えています。
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川敷の一部をグラウンドゴルフ場として使わせてもらえないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷を地元市町村が占用しグラウンドとして利用されている事例は数多くあります。スポーツやイベントなどによる利用が盛んに行われている八代市の球磨川河川敷スポーツ公園もそのひとつです。 治水や河川環境への影響が少ないと判断される場所には、グラウンドの整備や管理をしっかりと行っていただくことを前提に、地元市町村から占用申請があれば、河川敷でのグラウンドの利用は可能であると考えます。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。